

400mL 献血のお願い

全血献血では、医療の現場から寄せられる血液需要の**97%以上が400mL献血**の血液です。

そのため、主に400mL 献血をお願いしています。

※Rhマイナスの血液型の方には200mL献血もお願いしています。

なぜ200mL 献血の需要が少ないの？

たとえば800mLの輸血が必要な患者さんの場合、200mL献血を4人分輸血するよりも、400mL献血を2人分輸血する方が、**患者さんの負担が軽くなります**。

通常、輸血用血液はABO式・Rh式を患者さんに合わせて輸血されますが、ヒトの血液型（因子）は細かく分類すると数百種類あります。

たくさんの方の血液を輸血すると、患者さんの体が「自分のものと違う因子がたくさん入ってきた」と認識して副作用を起したり、輸血効果が低くなったりすることがあります。

◆400mL献血は、患者さんの副作用の可能性が低く、安全性が向上します。



400mLも献血して大丈夫？



体重50kgの方は体内に約4リットルの血液がありますが、医学的には、全血液量の15%（約600mL）までの血液が失われても問題がないことが報告されています。

また、献血の前に少しだけ血液をいただいて、血液の濃さ（ヘモグロビン値）を測りますので**献血の後に鉄欠乏性貧血になってしまうことはありません**（血圧が一時的に下がることがまれにあります）。

献血後に水分補給をしていただくことで、体内の水分量は回復します。